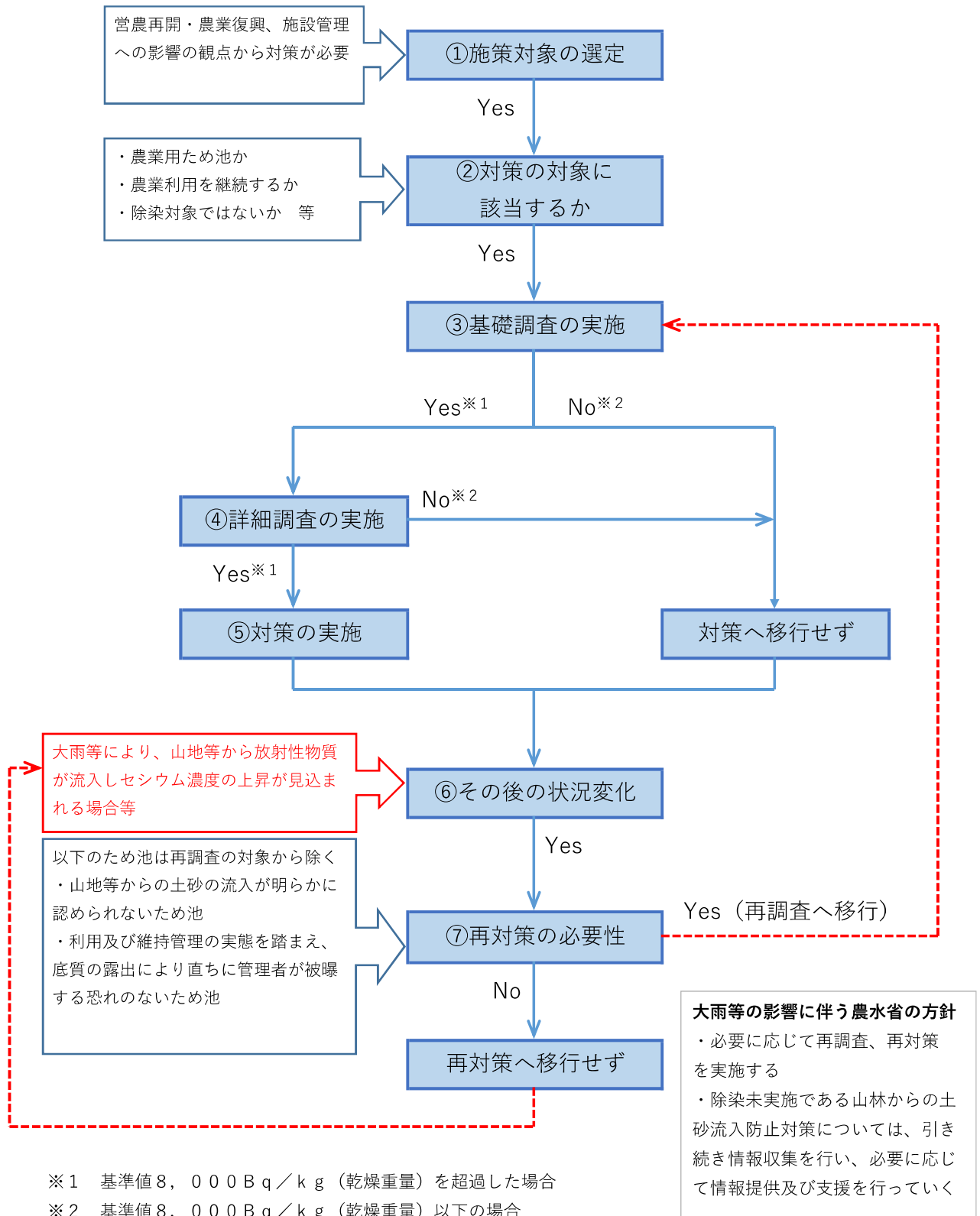


ため池放射性物質対策の流れ

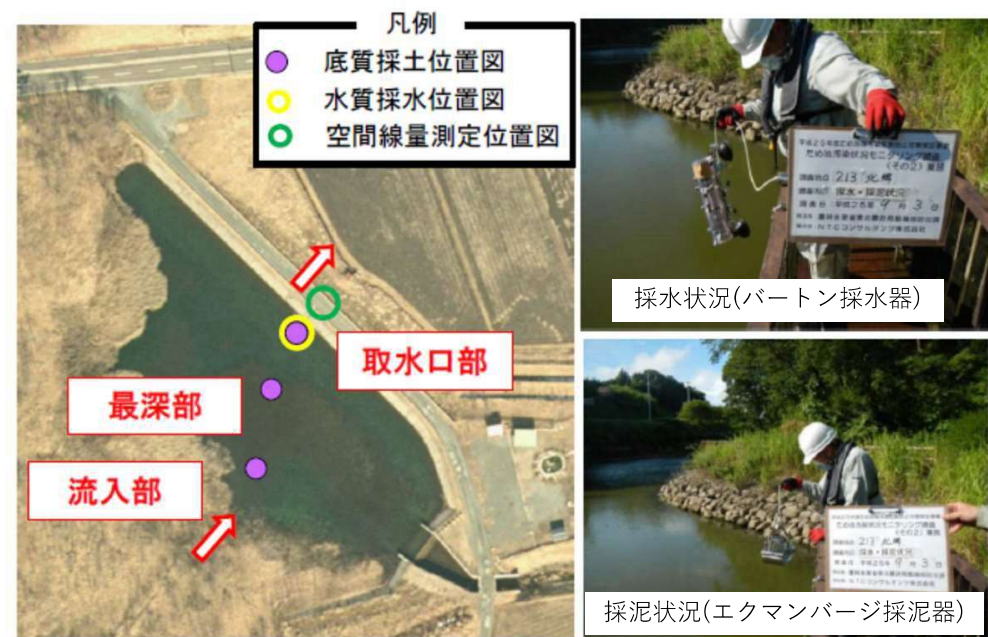


基礎調査の概要

水質・底質・空間線量 調査イメージ

基礎調査の作業内容

- ため池の利用・管理等実態調査
- 水質調査
- 底質調査
- 空間線量調査



詳細調査の概要

詳細調査 … 対策の計画を具体化するため、測量や放射性物質の詳細調査を実施

採泥調査



柱状採泥を実施し、放射性物質を含む底質の堆積状況を確認する。

底質面的調査



ロープ状の測定器を用い、底質の放射性セシウム濃度の調査を行う。平行移動し、随時測定することで、面的な調査を実施する。

放射性セシウム濃度分布図



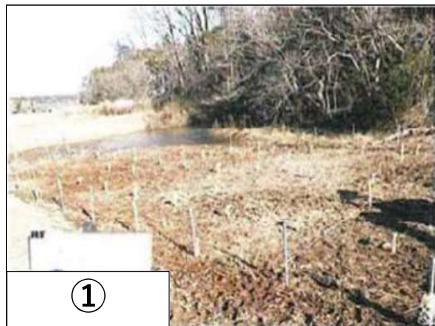
放射性セシウム濃度の分布図を作成し、対策工の施工範囲を決定する。

対策工の概要（直接掘削）

【対策工法の選定について】

- 落水できる場合 … 落水したうえで、重機による直接掘削
- 落水できない場合 … 水上に台船を浮かべ、ポンプ浚渫

直接掘削 … 重機を用い、放射性セシウム濃度の高い底質を掘削除去する



作業管理のため、施工範囲を区画分けします。



区画ごとに丁張を設置し、施工前後の高さを確認します。



重機を用い、底質を掘削します。



施工後の状況

対策工の概要（ポンプ浚渫）

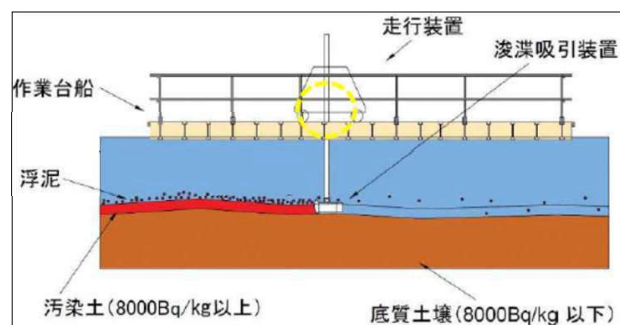
ポンプ浚渫 … ポンプ吸引により、放射性セシウム濃度の高い底質を浚渫除去する

ポンプ浚渫



水面上に浮かべた台船から、ポンプで底質を吸い上げる

浚渫イメージ図



シルトフェンス



取水口にシルトフェンス（汚濁防止膜）を設置し、施工中の泥の流出を防止

ため池放射性物質対策【対策工】 実施状況

総数（廃止ため池、及びダム※ ¹ 除く） 623か所 （小146、鹿245、原232）			
H25～H26 福島県のモニタリング調査 において、基準値超過 109か所 ※基礎調査実施せず詳細調査対象とする		H27～R1 基礎調査 514か所 （小115、鹿209、原190）	
H27～R1 詳細調査 （H25、H26モニタリング調査、基礎調査の結果、基準値超過） 321か所※ ² （小84、鹿119、原118）			詳細調査 対象外 （基礎調査 結果基準値 内） 299か所
H28～R4完了予定 対策工 （詳細調査結果基準値超過241＋揚水機場3） 244か所 （小70、鹿74、原100）		対策工 対象外 （詳細調査 結果基準値 内） 80か所	
H28～H29 県モデル施工 1か所 （原1）	H28～R5完了予定 市施工 243か所 （小70、鹿74、原99） 完了242/243		

基準値 8,000Bq/kg（乾燥重量）

※1：横川ダム、高倉ダム、岩部ダム

※2：324か所のうち対策面積が狭い揚水機場3か所については、詳細調査実施せず対策工対象とし、残321か所について詳細調査を実施する

☐：現在実施中

ため池放射性物質対策【再対策工】 実施状況

総数（廃止ため池、及びダム※ ¹ 除く） 6 2 3 か所 （小 1 4 6、鹿 2 4 5、原 2 3 2）										
【再対策の検討が必要】 ・令和元年東日本台風以前に対策工完了 9 4 か所 ・令和元年東日本台風以前の基礎調査で基準値内となったため池 2 8 9 か所 ・令和元年東日本台風以前の詳細調査で基準値内となったため池 7 9 か所 計 4 6 2 か所（A）										
R 1 ～ R 2 緊急簡易再基礎調査 1 1 か所			R 3 ～ R 4 再基礎調査【利用・管理実態調査＋採泥調査】 （A）－（B）＝4 5 7 か所							
R 2 再詳細調査 （緊急簡易再基礎調査結果、基準値超過） 5 か所 （小 3、鹿 1、原 1） （B）	緊急簡易再基礎調査結果基準値内 6 か所※ ²									
R 3 ～ R 4 再対策工 （再詳細調査結果、基準値超過） 5 か所 （小 3、鹿 1、原 1） 現場完了 5 / 5			R 3 再基礎調査【利用・管理実態調査】 既に利用・管理実態の確認がとれているため池 2 1 7 か所			R 4 再基礎調査【利用・管理実態調査】 2 4 0 か所				
			R 3 再基礎調査【採泥調査】 2 1 7 か所			R 4、7 月～R 4、8 月 再基礎調査【採泥調査】 1 4 3 か所		利用・管理実態なし 9 7 か所		
			R 4、7 月～R 4 再詳細調査（R4. 6月補正予算） （再基礎調査結果、基準値超過） 2 5 か所（小 1 2、鹿 2、原 1 1） 現場完了 2 5 / 2 5			R 5、2 月～R 5、6 月完了予定 再詳細調査 7 か所（小 1、鹿 1、原 5）				
			R 5、2 月～R 6 完了予定 再対策工 1 2 か所（小 7、鹿 1、原 4）		再対策工対象外 1 3 か所 （うち基準値内 9 か所） （うち廃止予定等 4 か所）		R 5～R 6 完了予定 再対策工 （再詳細調査結果、基準値超過） 〇〇か所			
					再対策工対象外 （再基礎調査結果、基準値内） 1 9 2 か所		再詳細調査対象外 （再基礎調査結果、基準値内） 1 3 6 か所			
【再対策の検討が不要】 ・令和元年東日本台風以降に対策工実施 1 5 0 か所 ・令和元年東日本台風以降に基礎調査を実施し、基準値内となったため池 2 か所 ・新たに廃止予定となったため池 9 か所 計 1 6 1 か所										

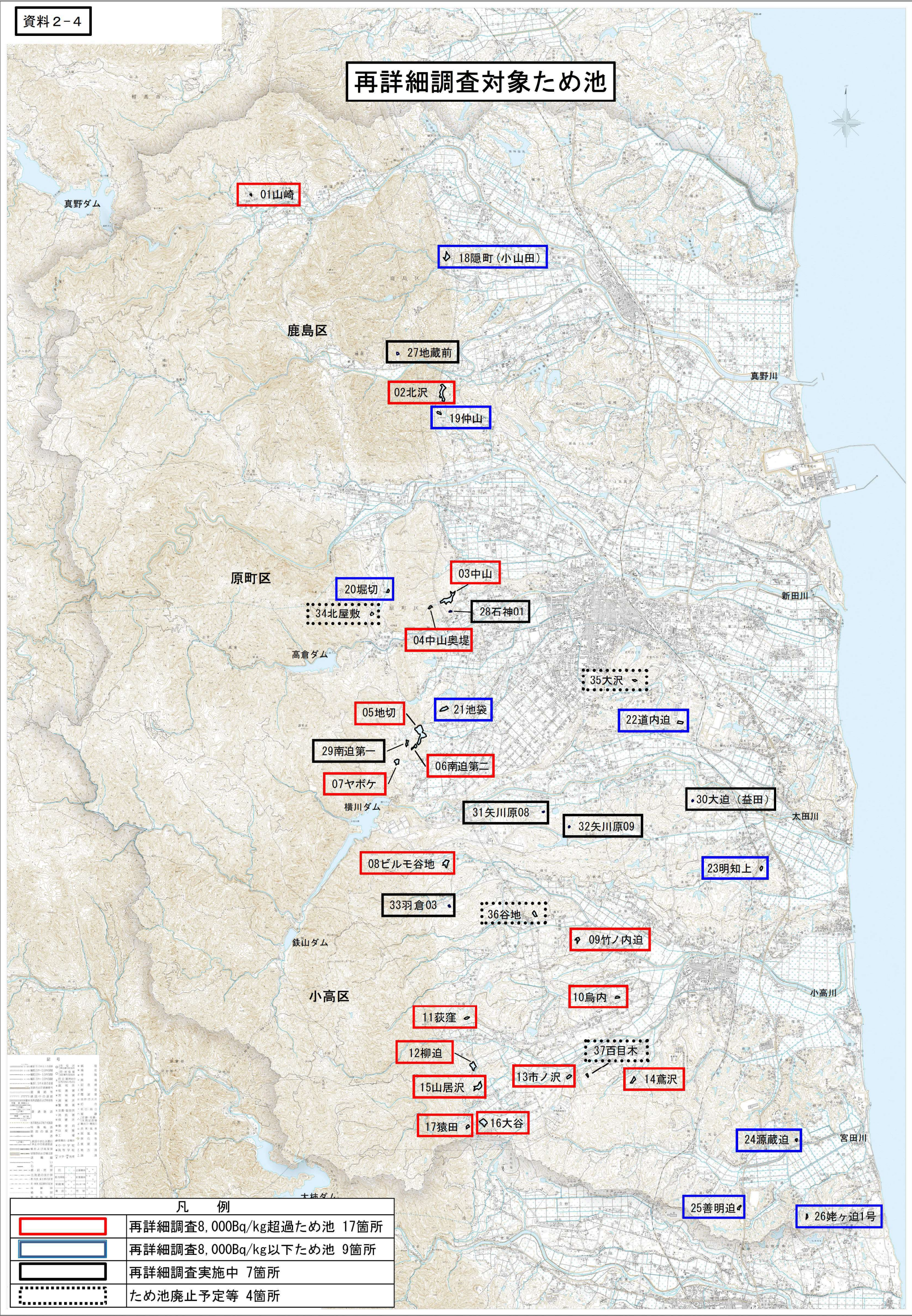
基準値 8, 0 0 0 B q / k g （乾燥重量）

※ 1：横川ダム、高倉ダム、岩部ダム

※ 2：緊急的に実施した簡易調査の為、基準値内となったため池については、改めて再基礎調査の対象とする。

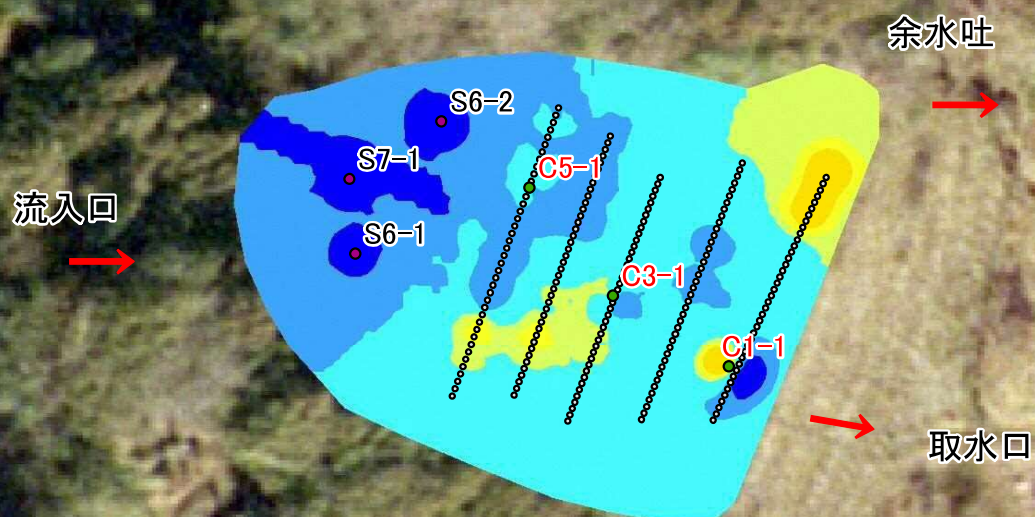
：今後、実施

再詳細調査対象ため池



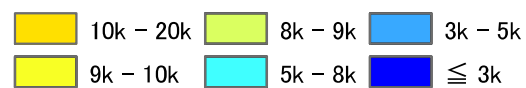
凡 例	
<div></div>	再詳細調査8,000Bq/kg超過ため池 17箇所
<div></div>	再詳細調査8,000Bq/kg以下ため池 9箇所
<div></div>	再詳細調査実施中 7箇所
<div></div>	ため池廃止予定等 4箇所

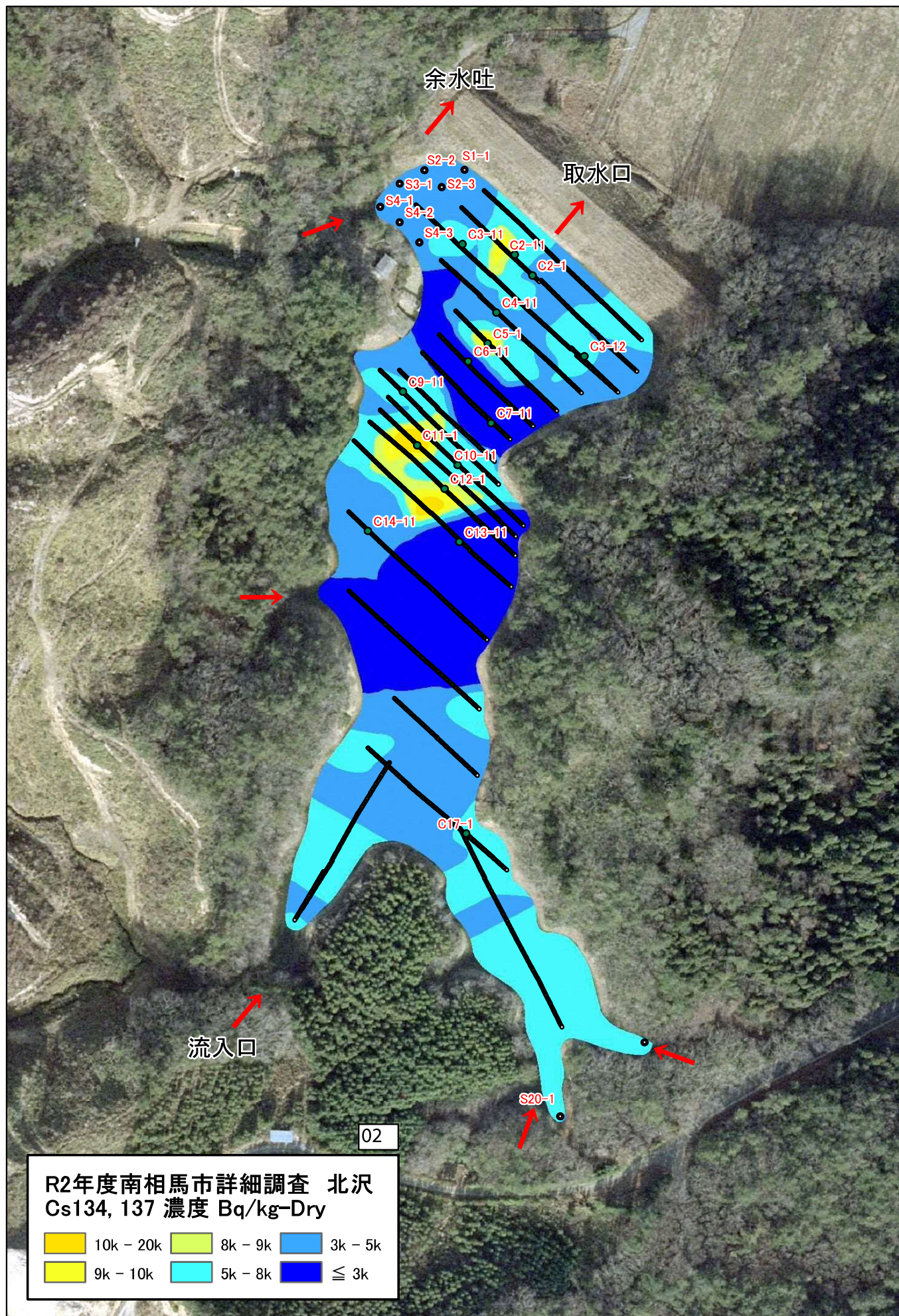
再詳細調査結果（放射線セシウム濃度分布図）

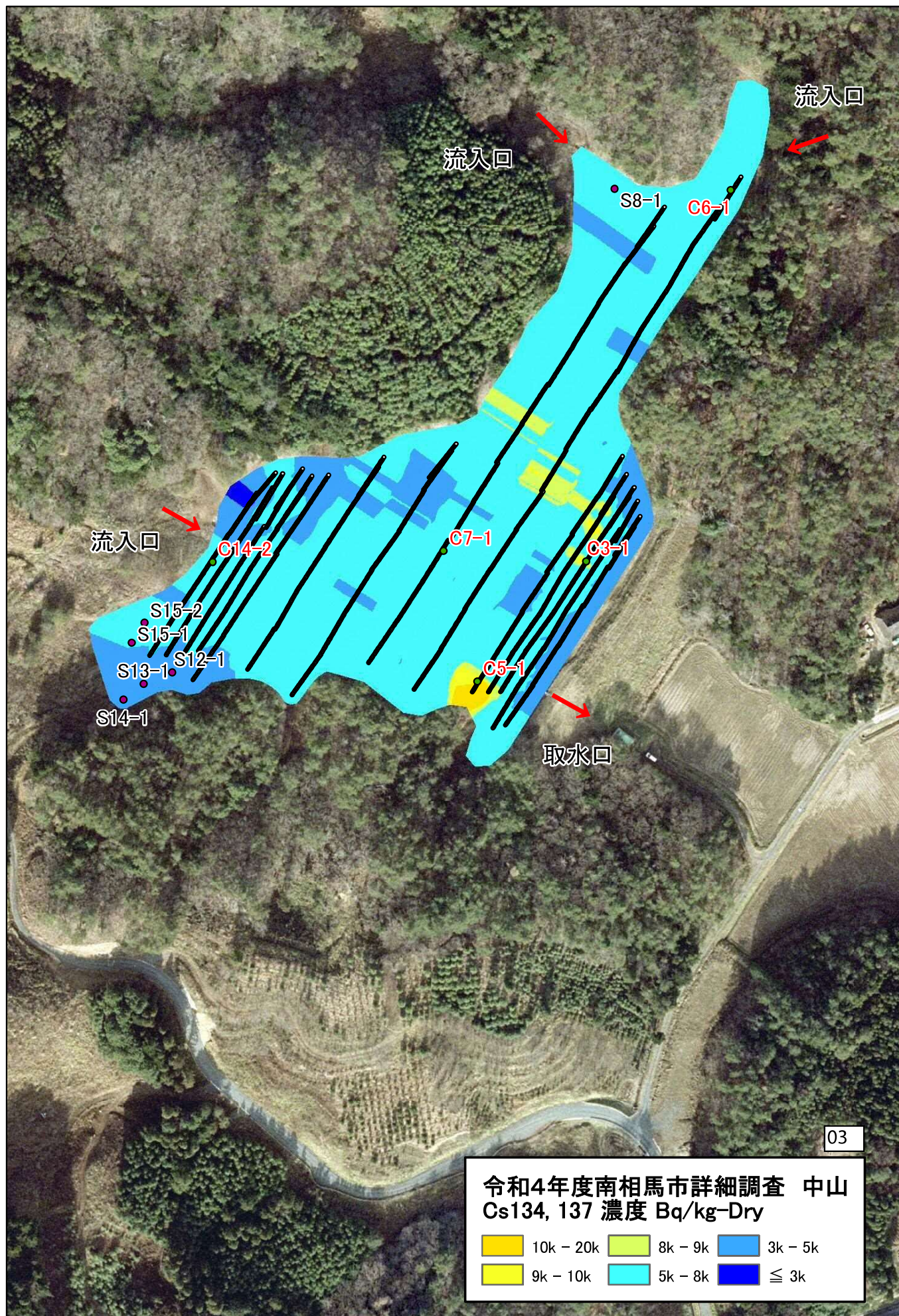


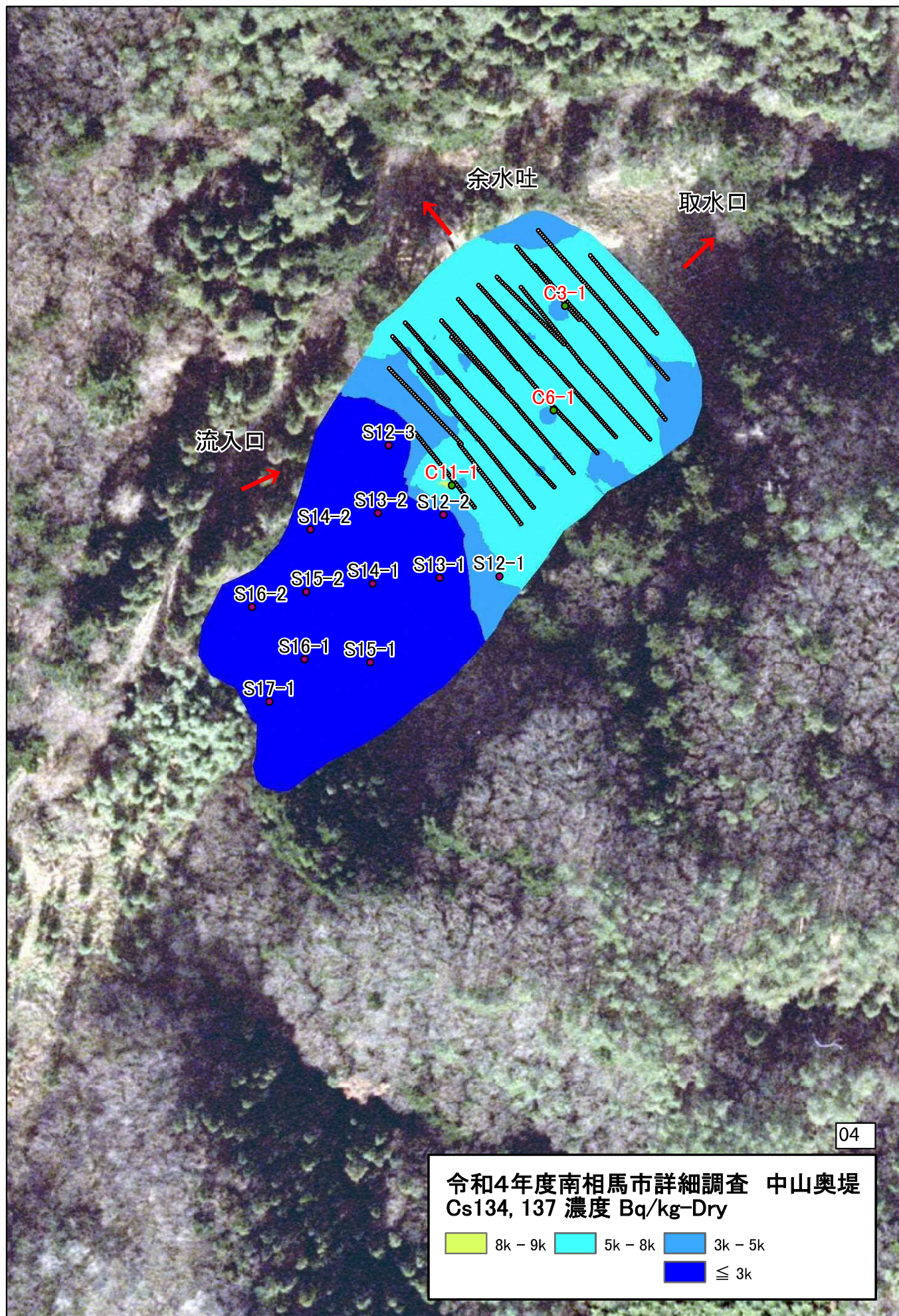
01

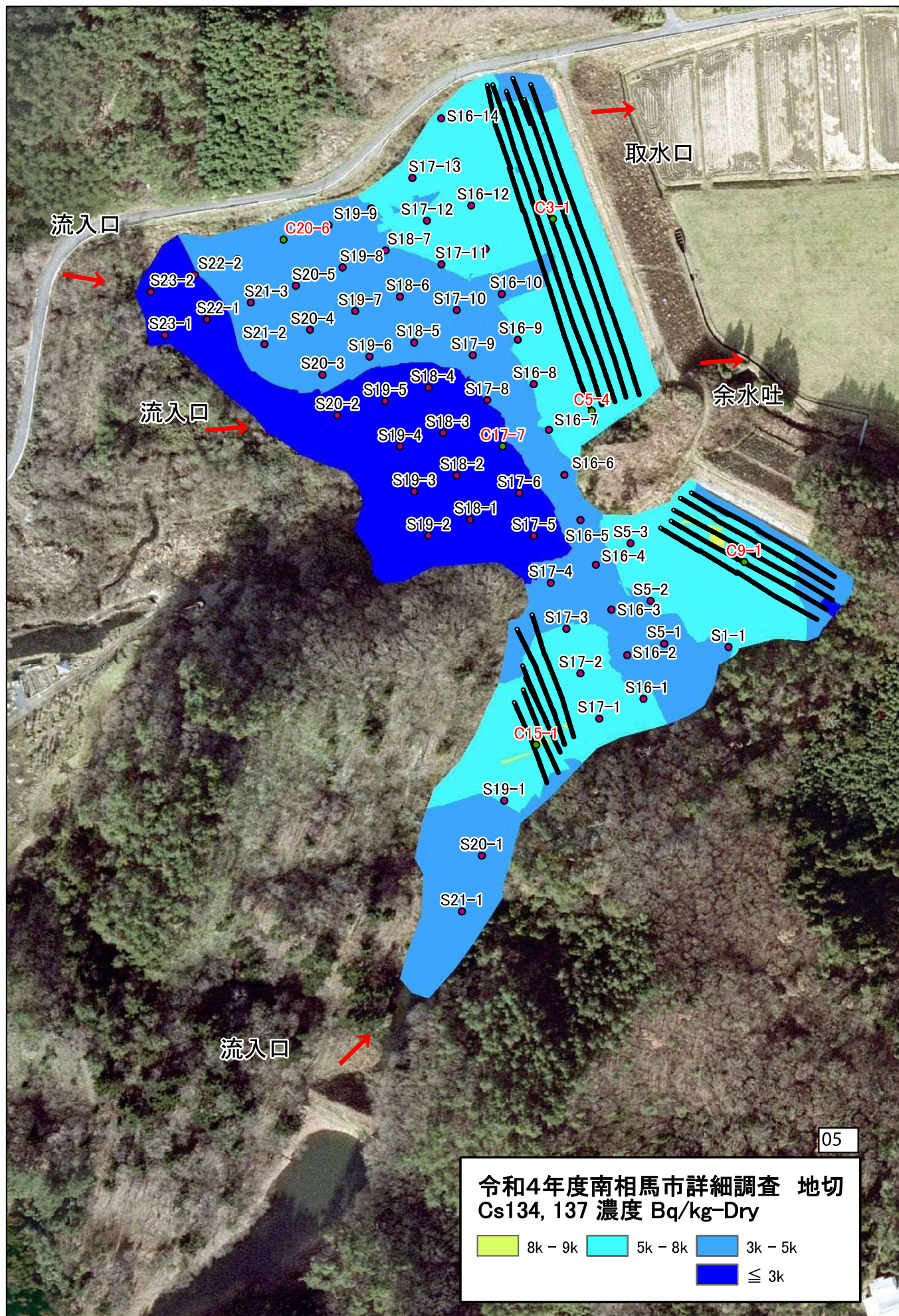
令和4年度南相馬市詳細調査 山崎
Cs134, 137 濃度 Bq/kg-Dry

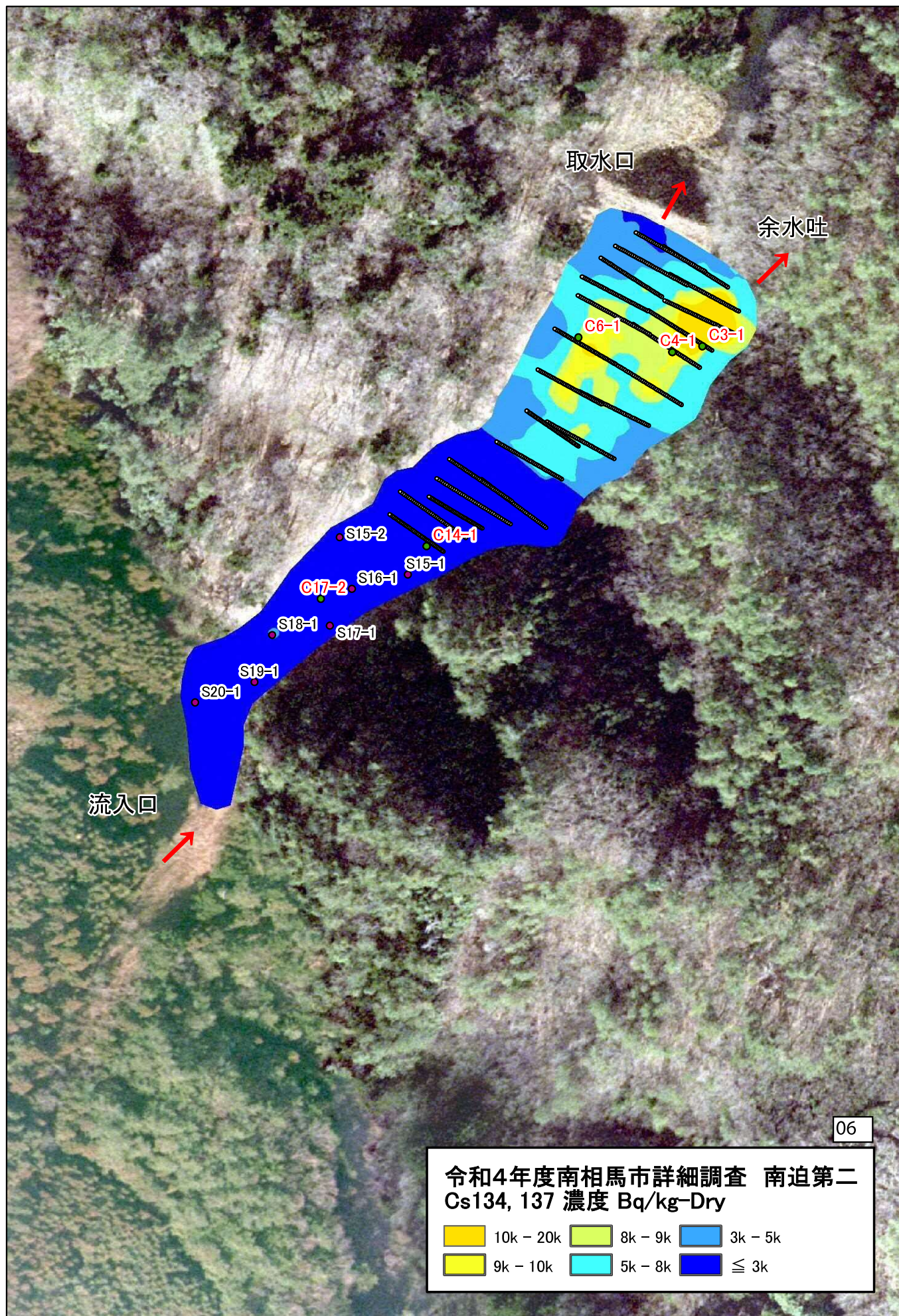


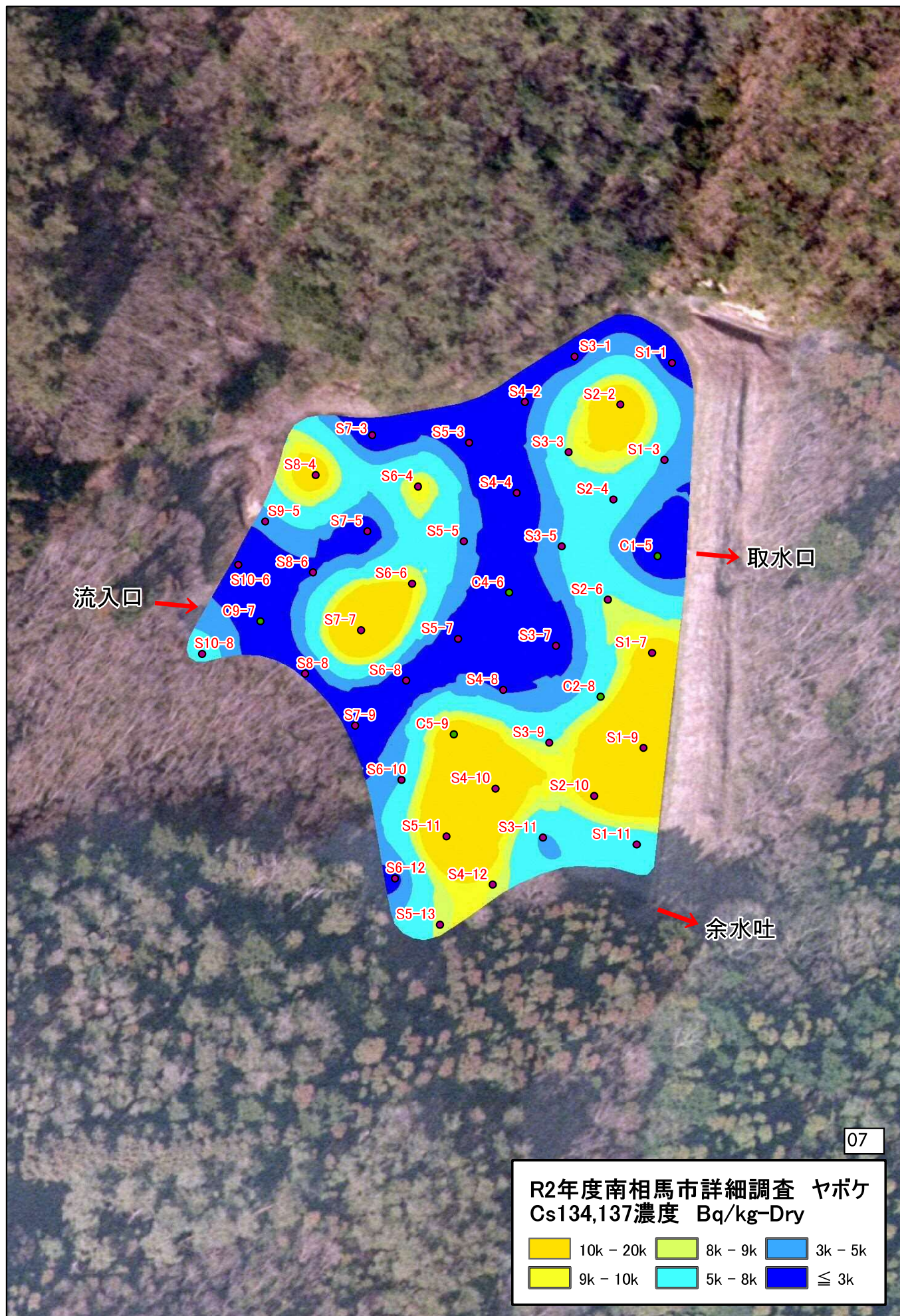


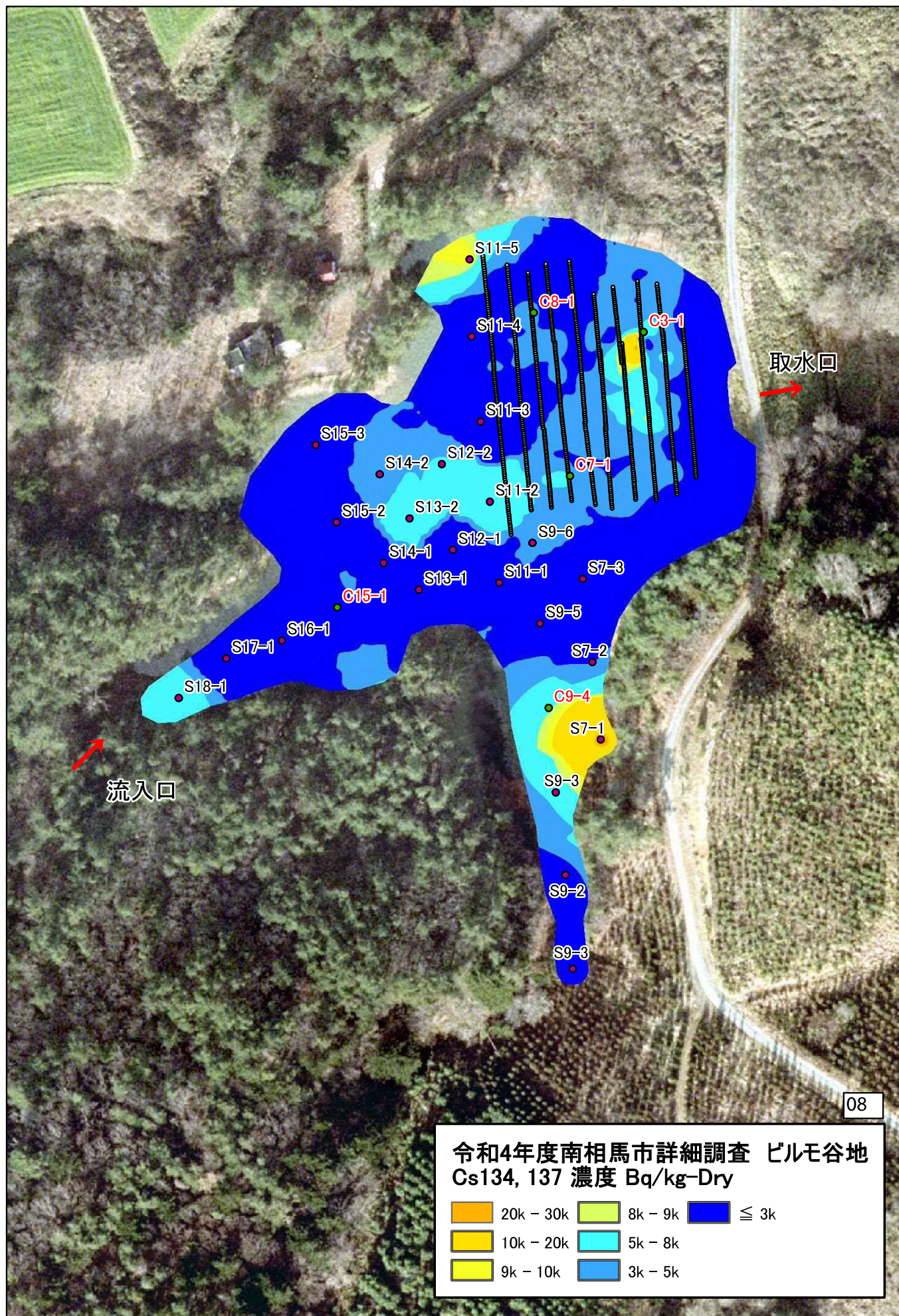


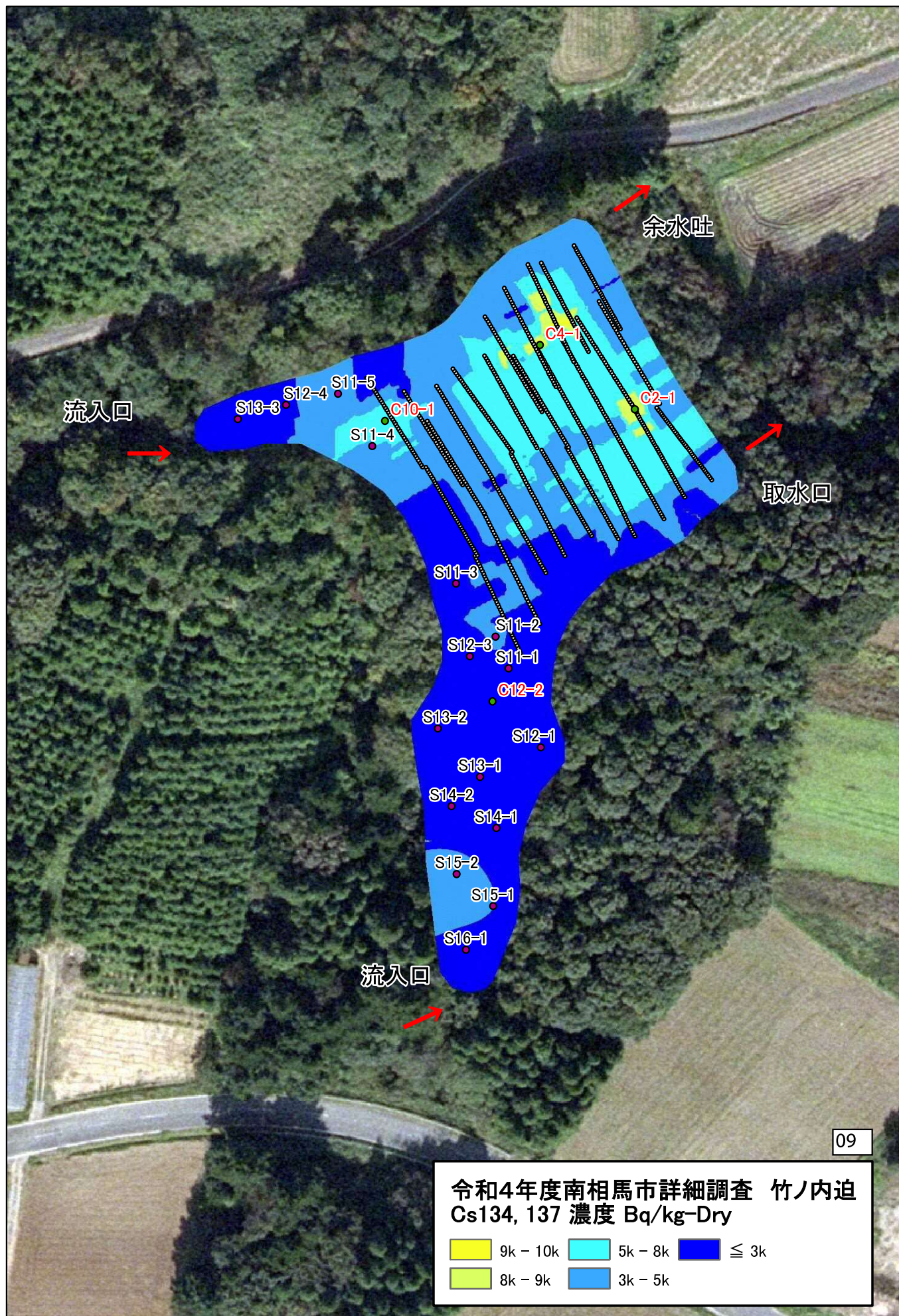




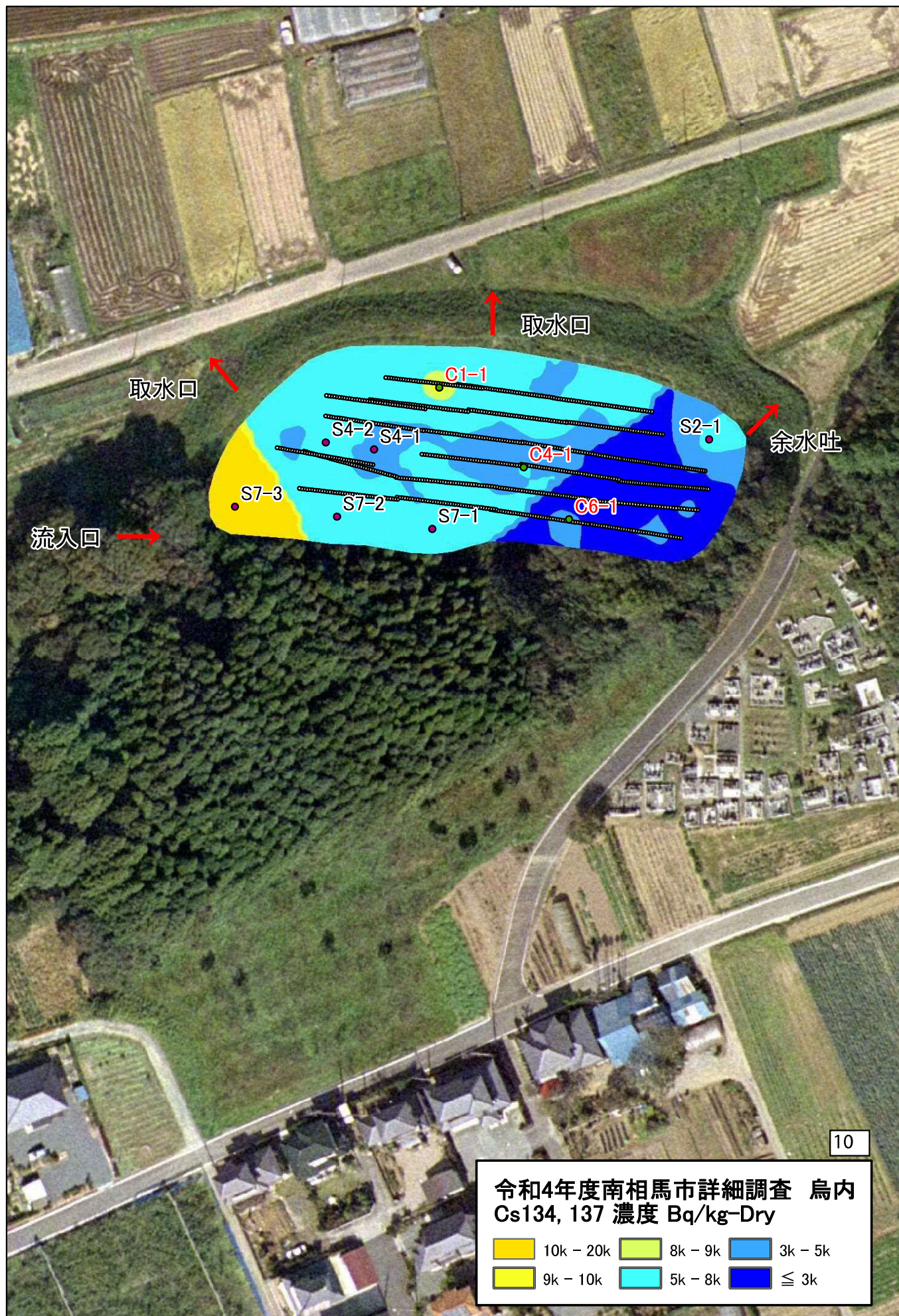








09



10

